

第 51 回 東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ:「事例検討」

日時: 令和 1 年 11 月 9 日(土) 14:00~16:00

会場: 五反田文化会館

出席者数: 12 名

今回は、久しぶりに五反田文化会館を使用させて頂き、テーマを看護の知の共有を目的に事例検討と致しました。

今までの事例検討と方法を変え、陣田泰子先生のシートを活用致しました。

最初に世話人の堀内さんよりシートの記入方法のオリエンテーションがありました。

参考までにシートの内容を簡単にご紹介致します。

今までの看護経験の中で、印象に残っている患者さんを思い浮かべて記入していきます。

- ① 忘れられない場面
- ② なぜ記憶をしていたのか?
- ③ 私がこだわる看護の領域とは?
- ④ 見えてきたこと、今後どのように考え続けていく?
- ⑤ 今私が大切にしている看護

以上の順番でシートに記入をしていきました。

個人で記入後、2 グループに分かれてディスカッションを行いました。

その後、グループから「大切にしている看護」を発表して頂きました。安心感が得られる看護、笑顔、話しやすい雰囲気づくり、記録、またこの病院で治療を受けたいと思われる看護、本人や家族を含め周りの環境を整え寄り添う看護などの意見があげられました。

最後に堀内さんに総括をして頂きました。今回の作業の意味は、経験の概念化を行っている事、実際にあった事なら書けるのではないかと、書けなくてもグループワークで話すことが出来たのではないかと。経験をつないでいく、皆で話していると思いが広がっていく、そしてその思いを残すことが大切ではないかと話がありました。

普段、私たちは事例を書く機会は少ないと思います。また、気になる患者さんがいてもどのように書けばよいか分からなかったりします。しかし今回のシートなら少し書けるのではないかと感じました。そして、他の人の話を聞きながら自分でも場面を思い浮かべて考える事、経験を共有していく事は大変貴重な時間だったと思います。今回のような勉強会を通して、時々自分の看護人生を振り返るのも良いかもしれません。

東京消化器内視鏡看護勉強会では、皆様からのアンケートやご意見を基に勉強会を企画していきたいと考えております。今後ともよろしくご協力致します。

次回は、令和 2 年 1 月 18 日(土) の開催を予定しております。テーマは「傾聴力」です。皆様のご参加をお待ちしております。

(文責 高村)

